

幸田町の公共交通の現状



愛知県 幸田町 企画部 企画政策課

幸田町の概要

- **特長** 鉄道駅を中心としたコンパクトな市街地と、これらを取り巻く農地や山林などの豊かな緑に包まれた町です。



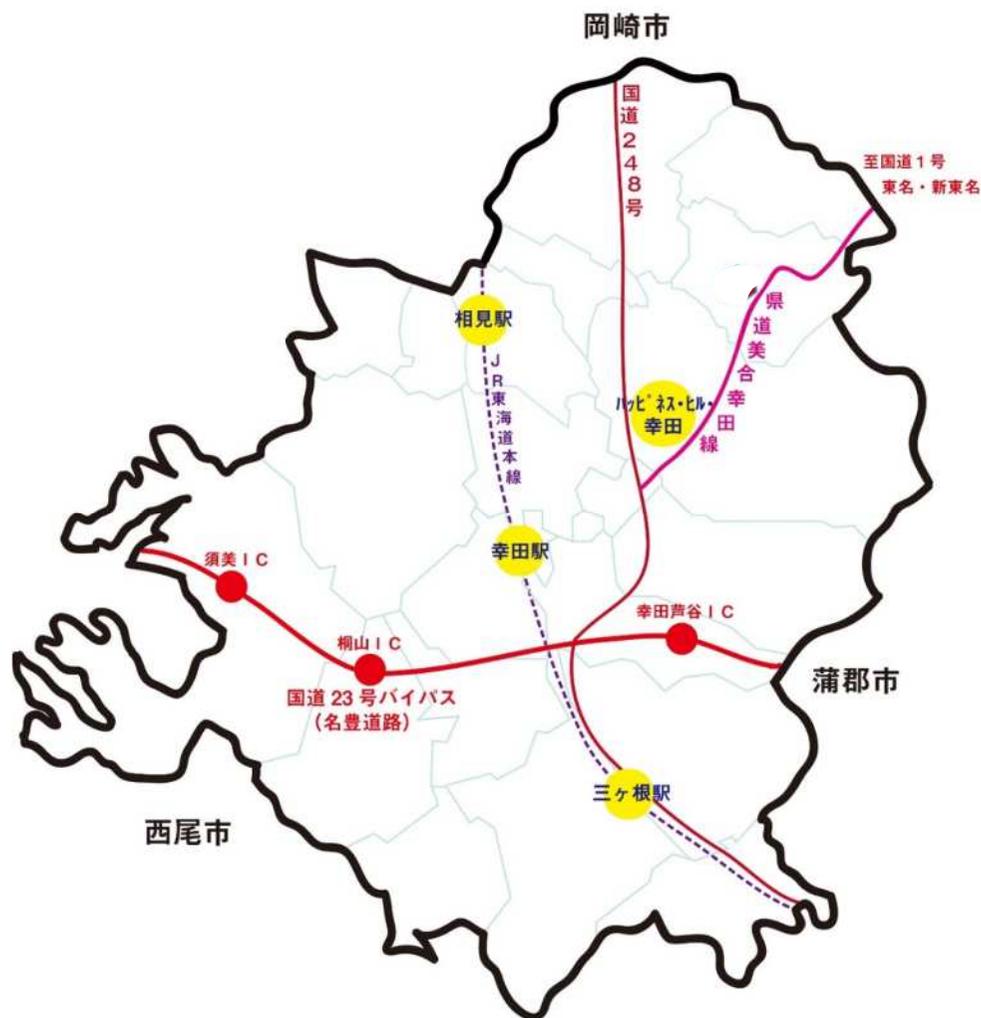
宅地・道路などの
都市的土地利用が
町域の約**2**割、
森林や農地などの
自然的土地利用が
約**7**割です。

 市街化区域

幸田町の概要

● 道路

町の東西を国道23号(幸田須美IC、幸田桐山IC、幸田芦谷IC)、南北を国道248号が通り自動車の交通の便が良い。



● 鉄道

JR幸田駅

JR三ヶ根駅

JR相見駅

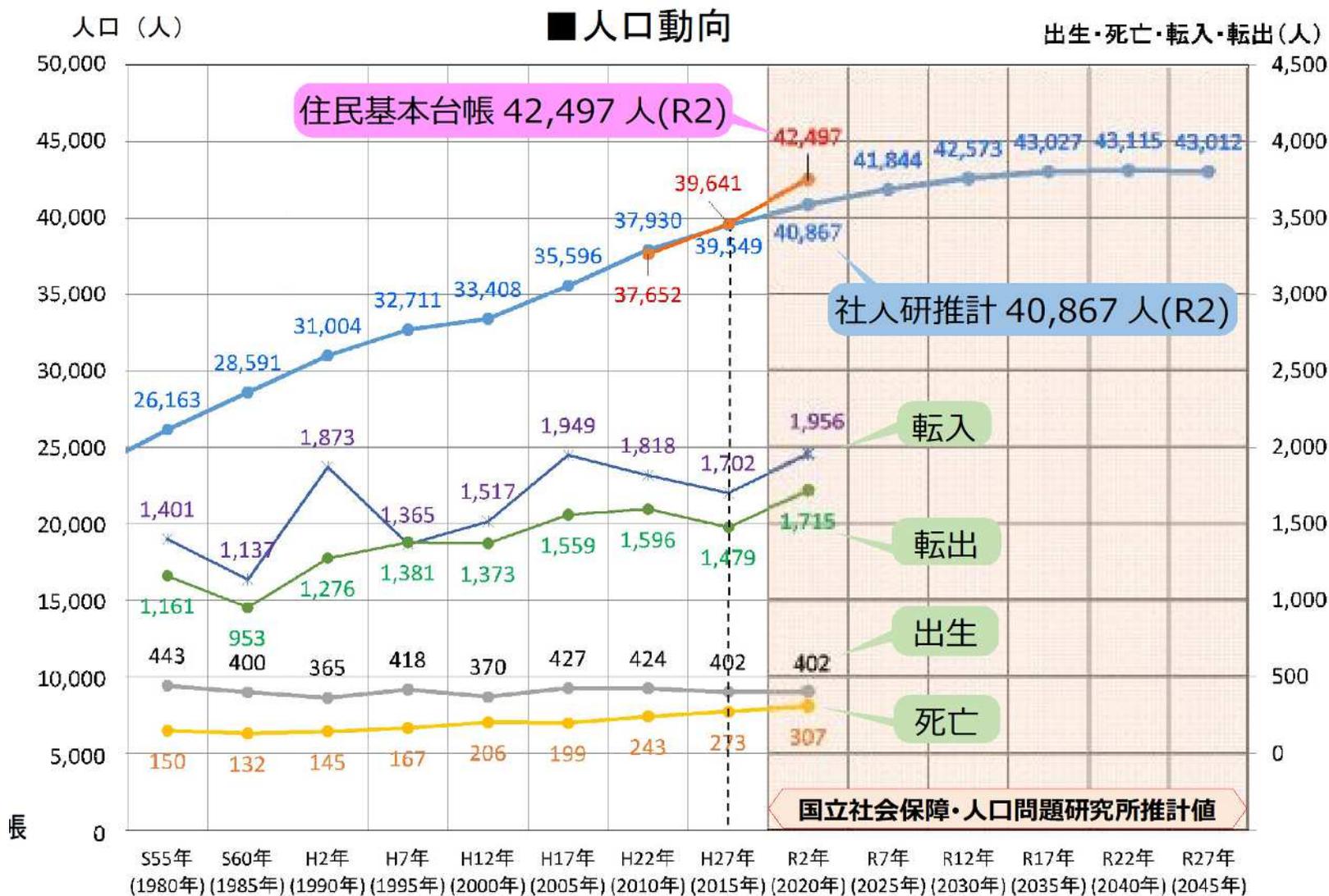
(平成24年3月開業)

幸田町の概要(MAP)

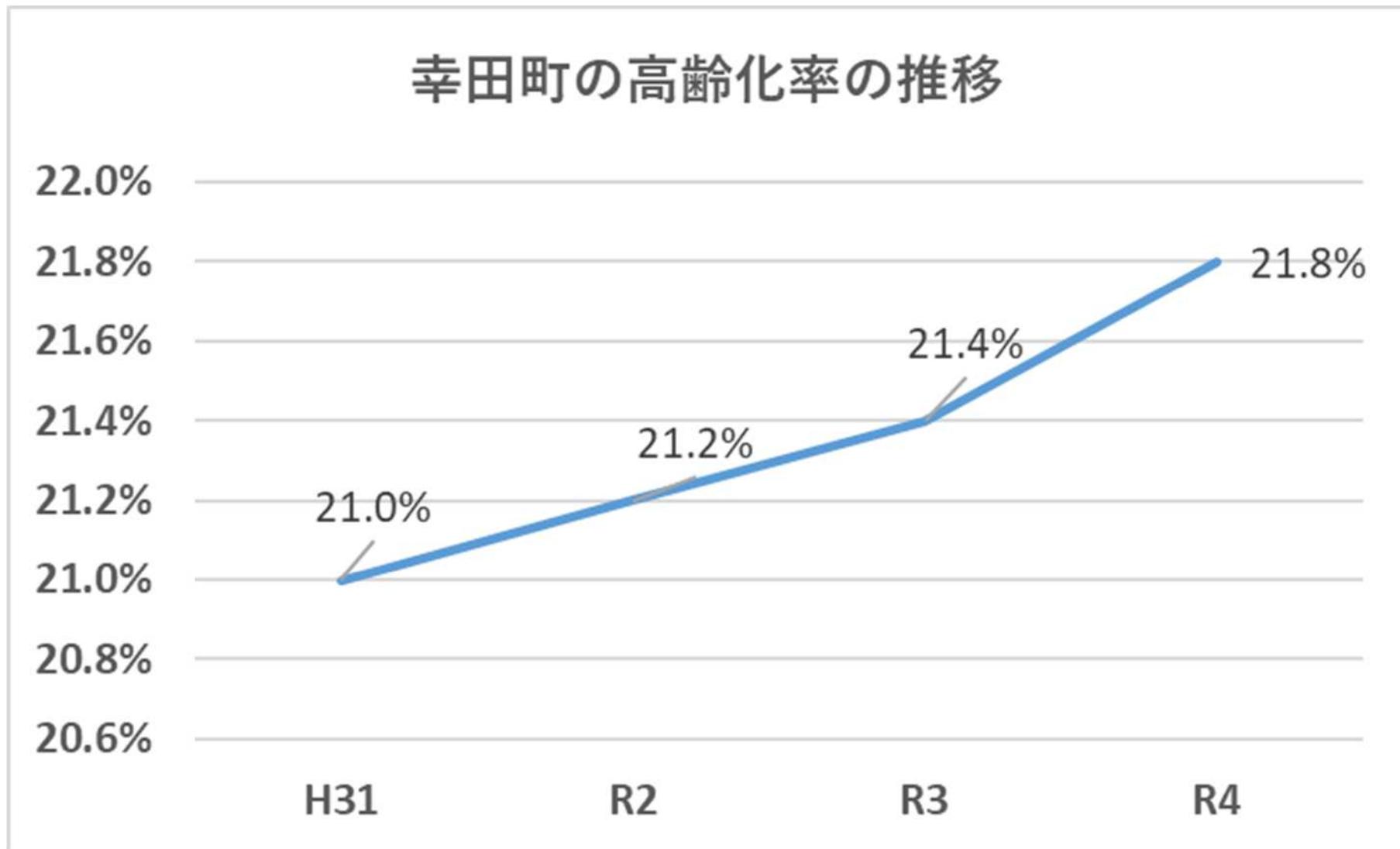


幸田町の概要

R4.7.1現在 42,375人 16,589世帯



幸田町の概要



幸田町の公共交通 町運営

○ えこたんバス概要 (財政課所管)

料 金:無料

対 象 者:どなたでも利用可能

運行形態:路線定期運行のコミュニティバス

運 行 日:年末年始(12/29~1/3)を除く平日 ※祝日も運行

運行時間:8時30分~17時 1日6便(2・4・6便は逆回り)

※15時~16時の間は小学生を対象としたスクールバス
として運行している。

運行エリア:町内全域 4ルート(北・中・東西・南)



幸田町の公共交通 町運営

○ えこたんバス利用実績等

利用人数 ※()内はスクールバス利用人数

令和3年度:32,390(8,165)人

令和2年度:33,317(8,887)人

令和元年度:48,261(14,563)人

運営経費

令和3年度:27,210,919円

令和2年度:25,156,000円

令和元年度:28,918,000円

経費内訳

運転手報酬等:19,192,894円

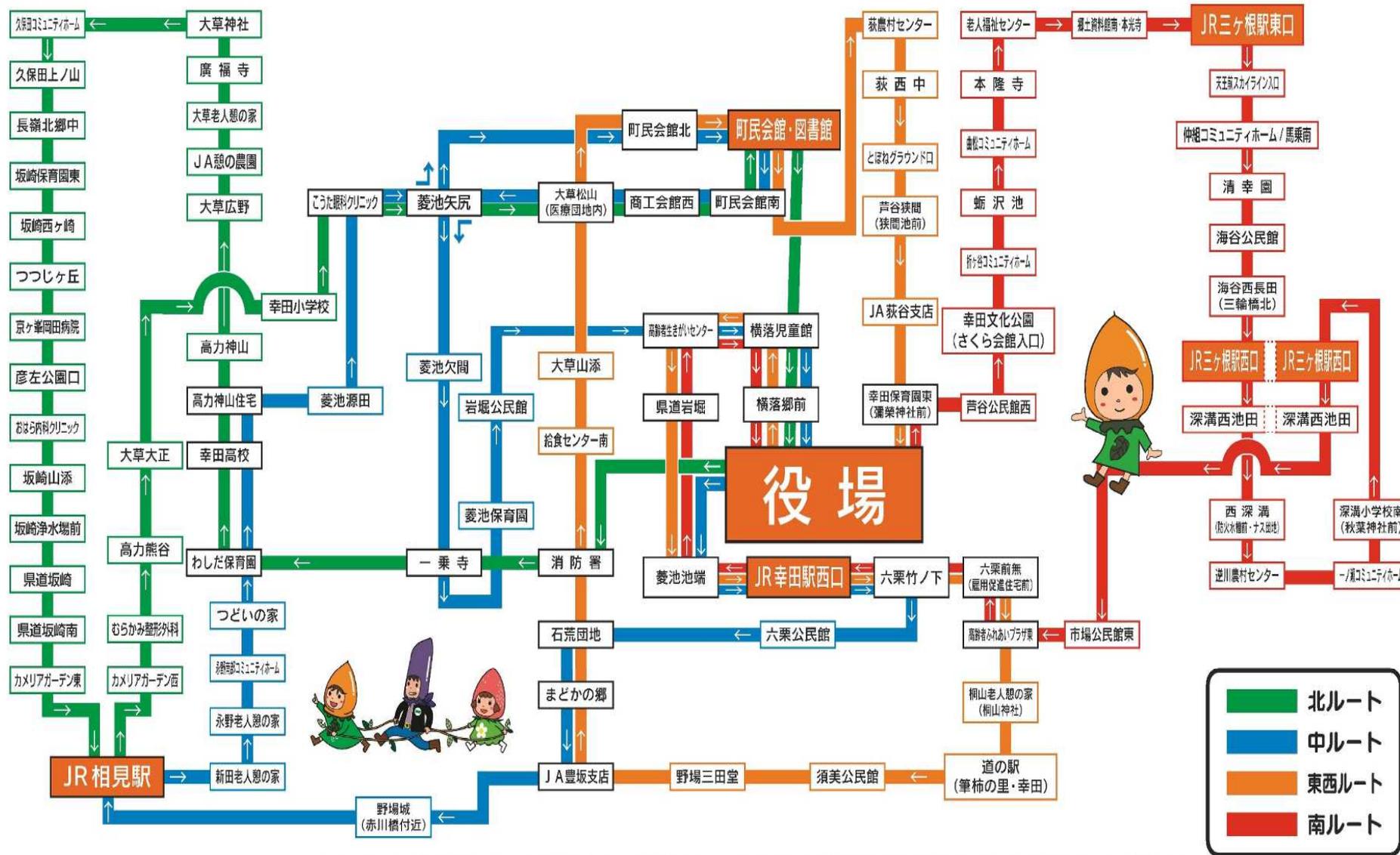
燃料費:3,768,479円

点検費:1,745,742円

修繕費:1,669,305円

その他(消耗品等):834,499円

幸田町の公共交通 町運営



※このルート図は1・3・5便のルート図です。2・4・6便は逆回りとなります。(矢印が逆になります)

幸田町の公共交通 町運営

○ チョイソコこうた

(企画政策課所管)

料金: 無料 (R2.10~社会実験中)

対象者: 豊坂・深溝小学校区に

在住の65歳以上の人又は障害者手帳をお持ちの人

運行形態: 区域運行のデマンド型乗り合い送迎サービス

運行日: 年末年始(12/29~1/3)を除く平日

運行時間: 9時~16時

予約方法: 電話及びインターネット

運行エリア: 豊坂及び深溝小学校区

※令和4年3月より運行エリアを深溝学区に加えて豊坂学区まで拡大

委託業者: (株)アイシン



幸田町の公共交通 町運営

○ チョイソコこうた利用実績等

登録者数

R3.3末時点: 199人

R4.3末時点: 338人

利用人数(延べ人数)

令和3年度: 2,259人

令和2年度: 643人

運営経費

令和3年度: 15,821,300円

経費内訳

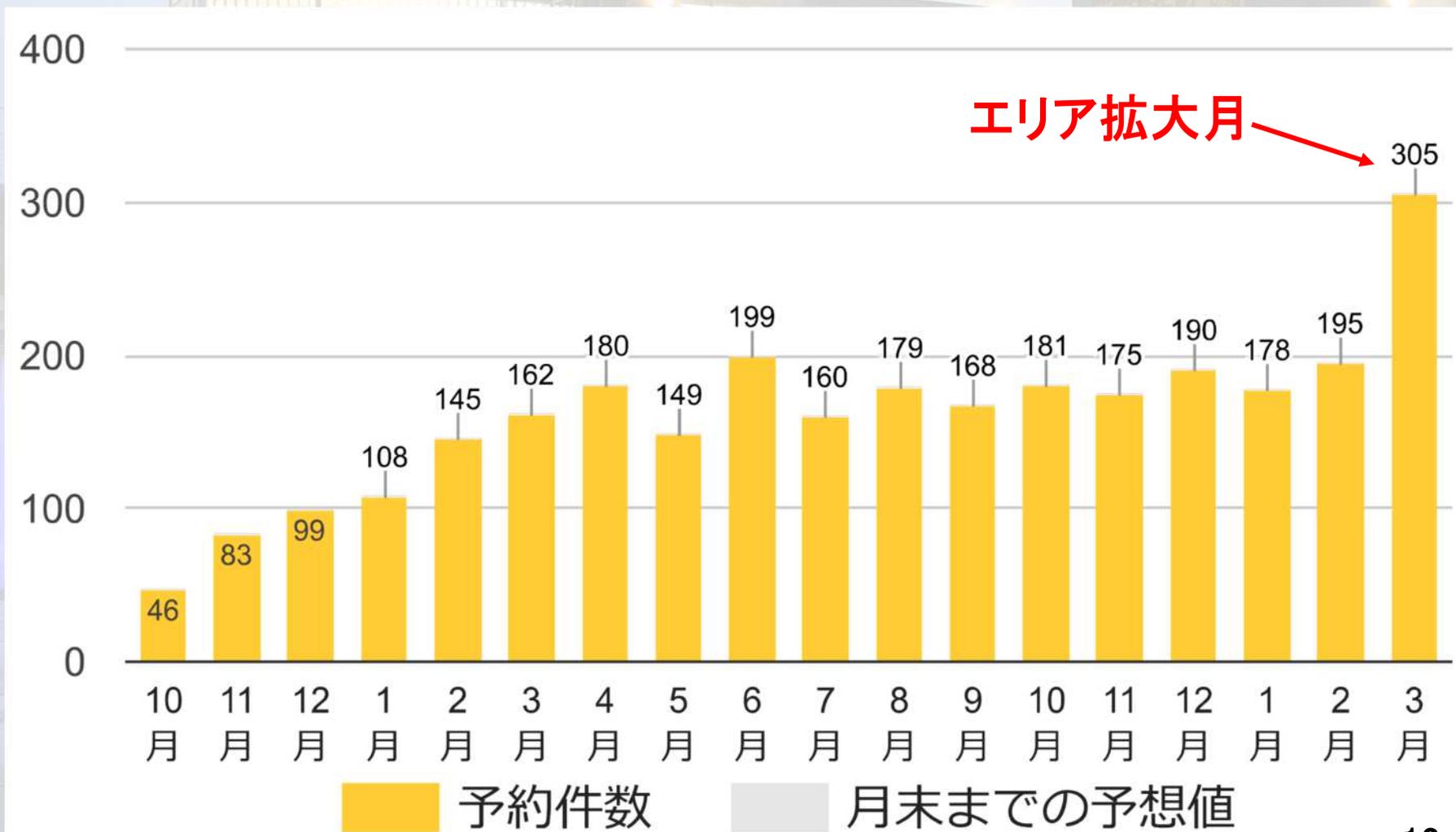
委託料: 13,907,300円

車両リース代: 1,914,000円

幸田町の公共交通 町運営

チョイソコこうた月別予約件数(延べ人数)

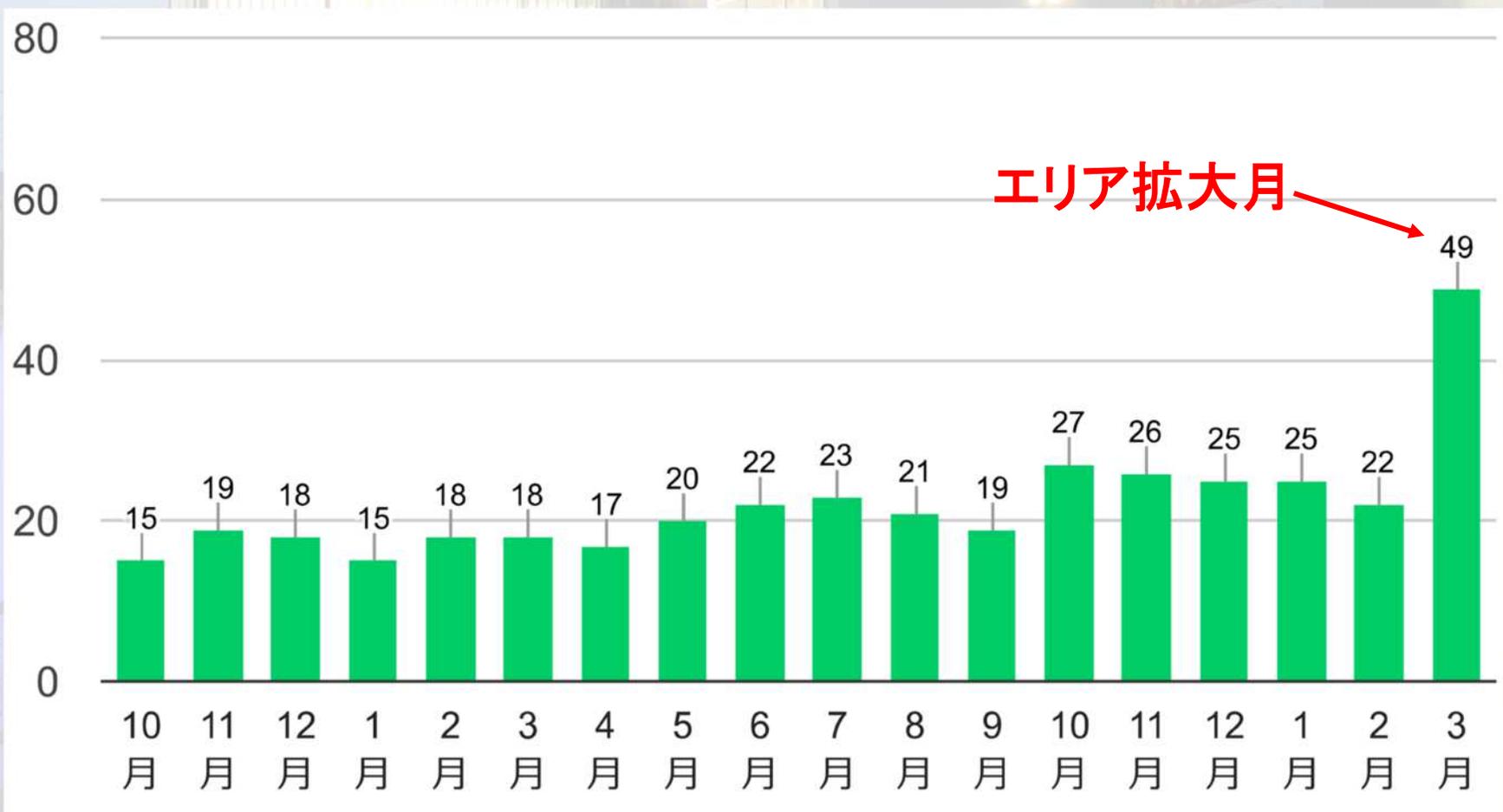
令和2年10月～令和4年3月



幸田町の公共交通 町運営

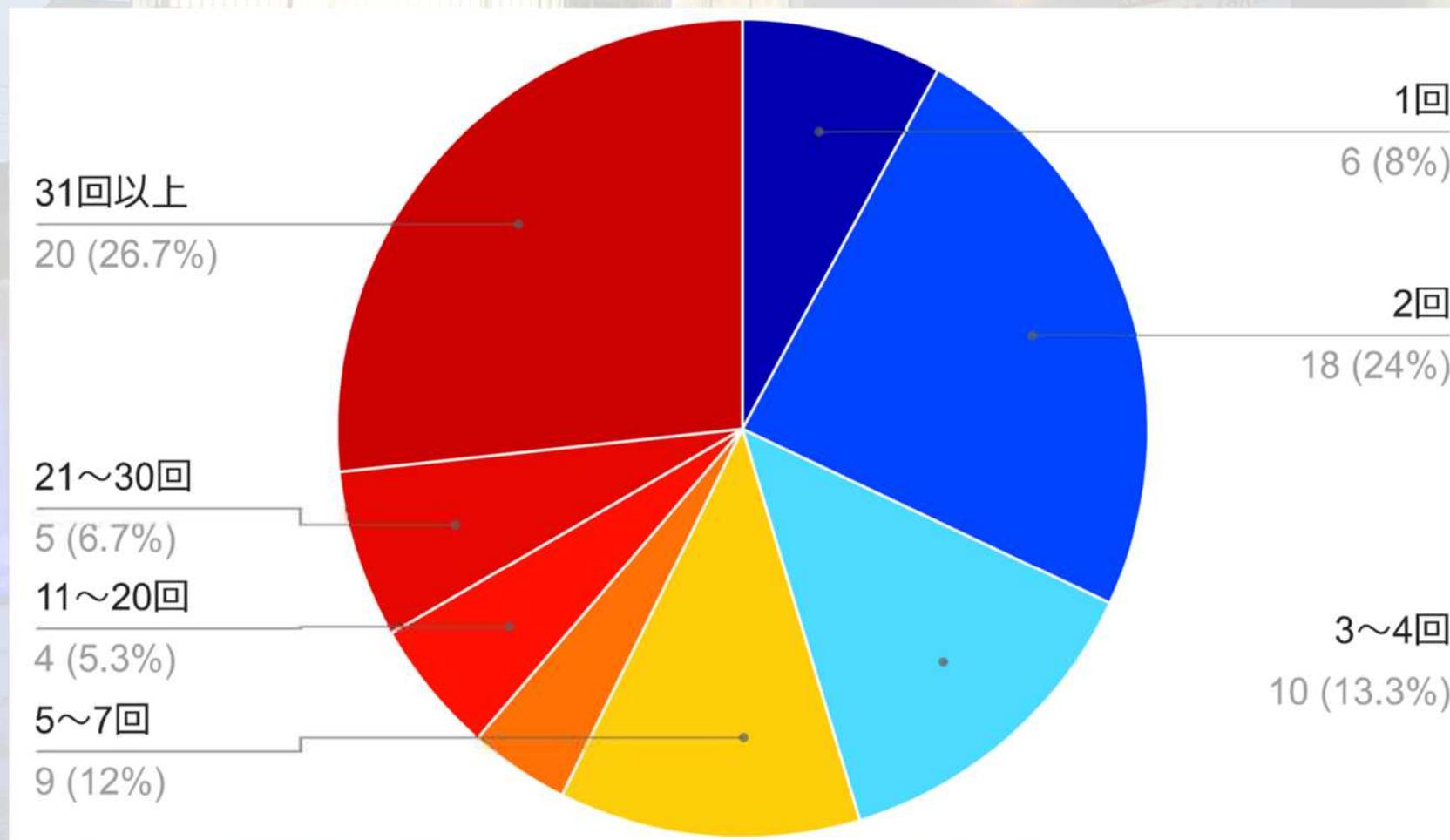
チョイソコこうた月別利用人数(実利用者)

令和2年10月～令和4年3月



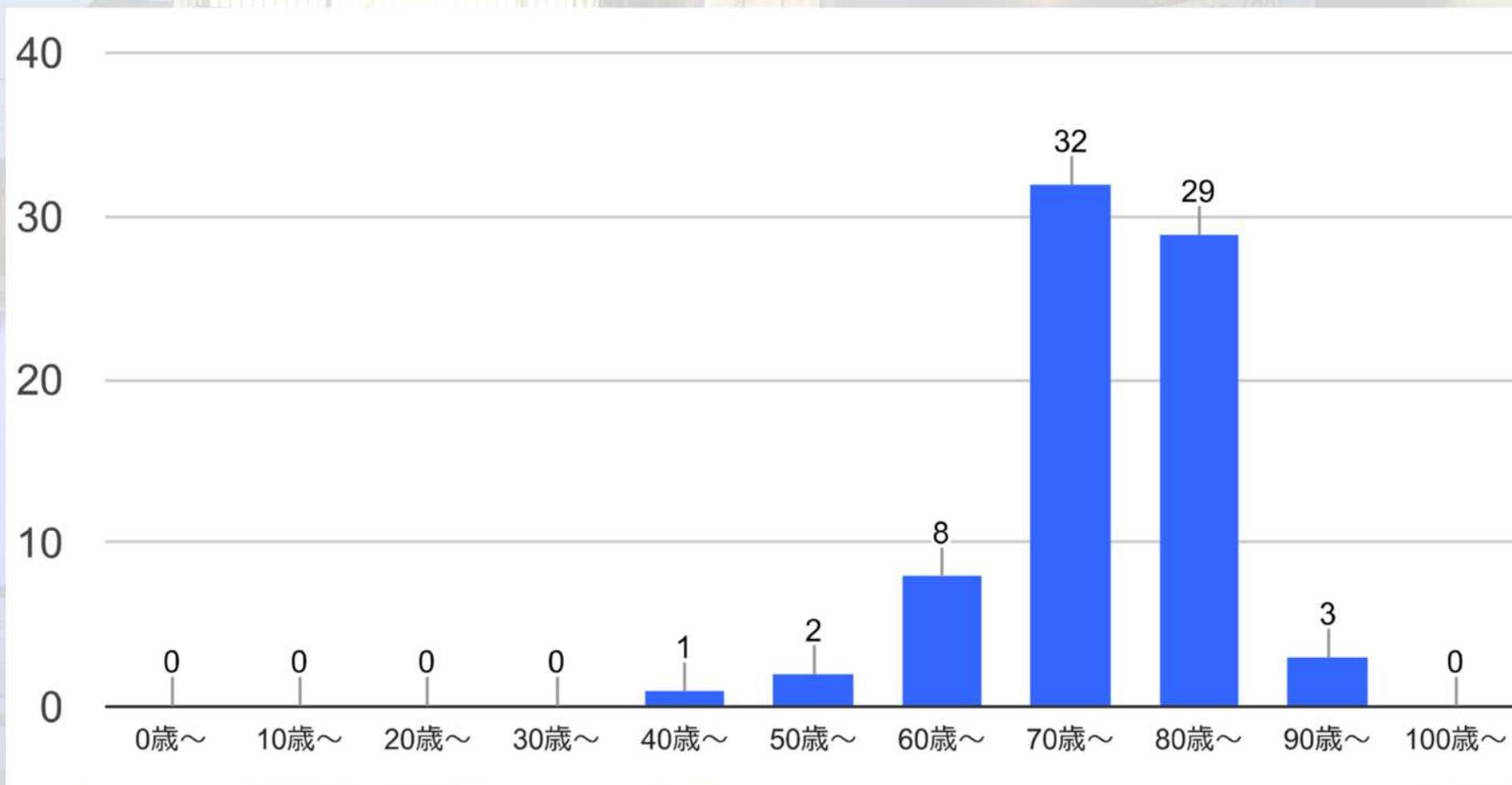
幸田町の公共交通 町運営

チョイソコこうた一人当たり予約件数割合



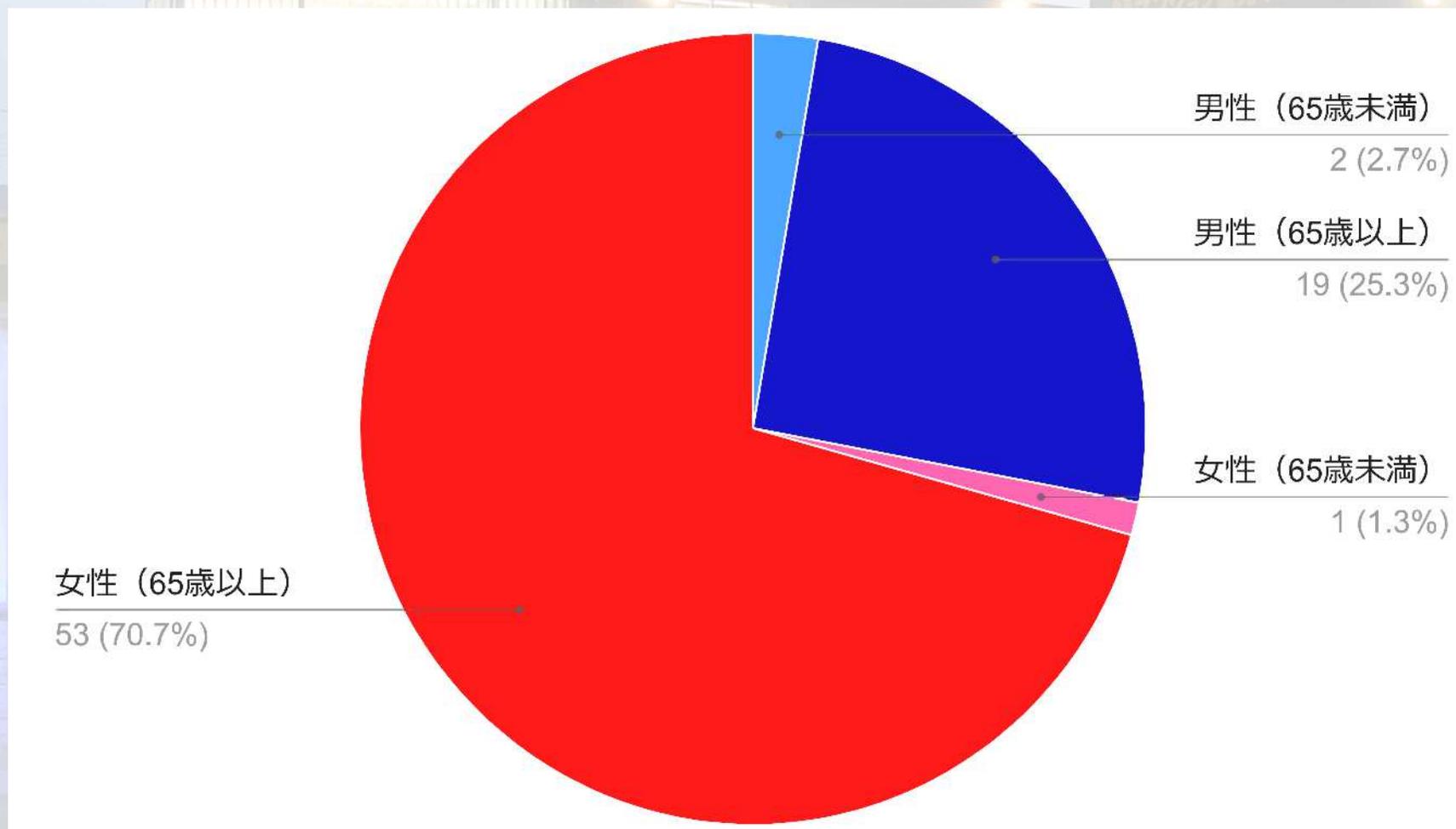
幸田町の公共交通 町運営

チョイソコこうた 年代別 利用者数



幸田町の公共交通 町運営

チョイソコこうた 利用者の性別割合



幸田町の公共交通 町運営

チョイソコこうた 月別乗合率

令和2年10月～令和4年3月



幸田町の公共交通 町運営

○ 藤田乗合直行タクシー (企画政策課所管)

料金: 無料(R2.4~社会実驗中)

対象者: 町内在住で「藤田医科大学岡崎医療センター」へ通院する人

運行形態: 一般乗用旅客運送事業者による路線定期運行

運行日: 年末年始(12/29~1/3)を除く平日

運行エリア: 幸田町役場⇔相見駅⇔藤田医科大学岡崎医療センター

※令和4年3月に幸田町役場を停留所に追加

運行時間: 7時20分~16時55分(行き4便、帰り5便)

※令和4年2月までは行き7便、帰り7便)

委託業者: (株)レミックス



幸田町の公共交通 町運営

○ 藤田乗合直行タクシー

利用人数(延べ人数)

令和3年度:656人

令和2年度:484人

運営経費

令和3年度:10,674,840円(全て委託料)

令和2年度:10,820,790円(全て委託料)

幸田町の公共交通 町運営

○ 藤田乗合直行タクシー 月別利用者数

令和3年4月～令和4年3月

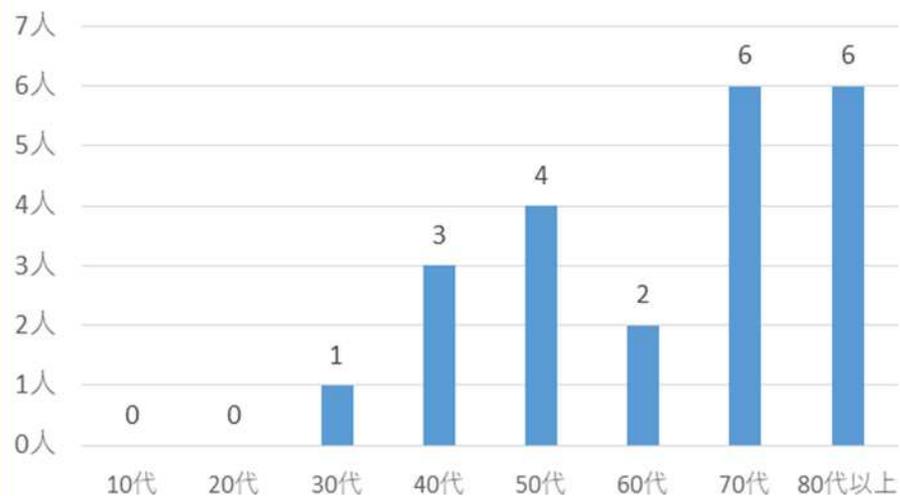


幸田町の公共交通 町運営

○ 藤田乗合直行タクシー 年代別利数 ※利用者アンケートより

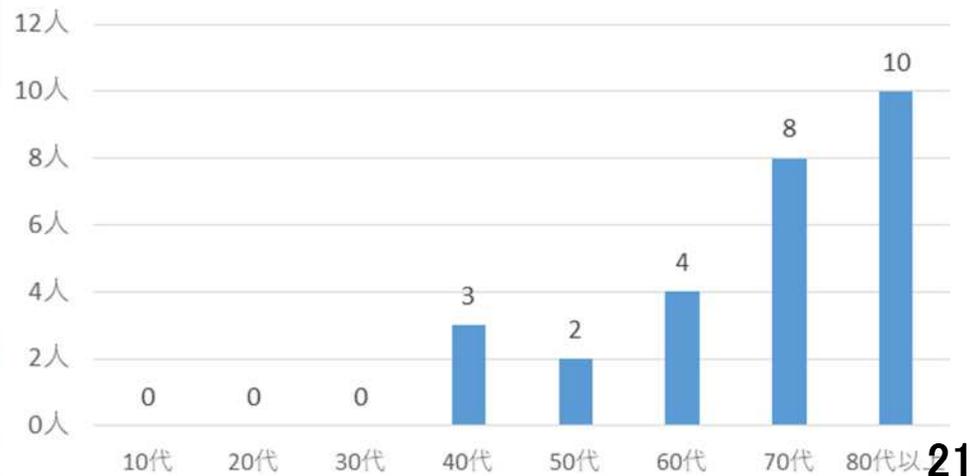
令和3年4月～令和4年2月

相見駅⇔藤田



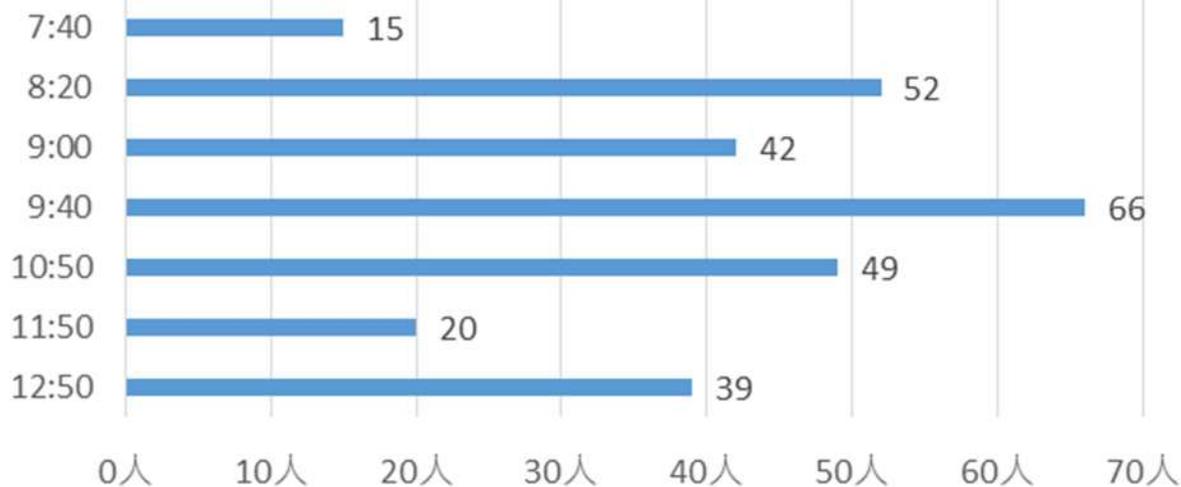
令和4年3月

幸田町役場⇔相見駅⇔藤田



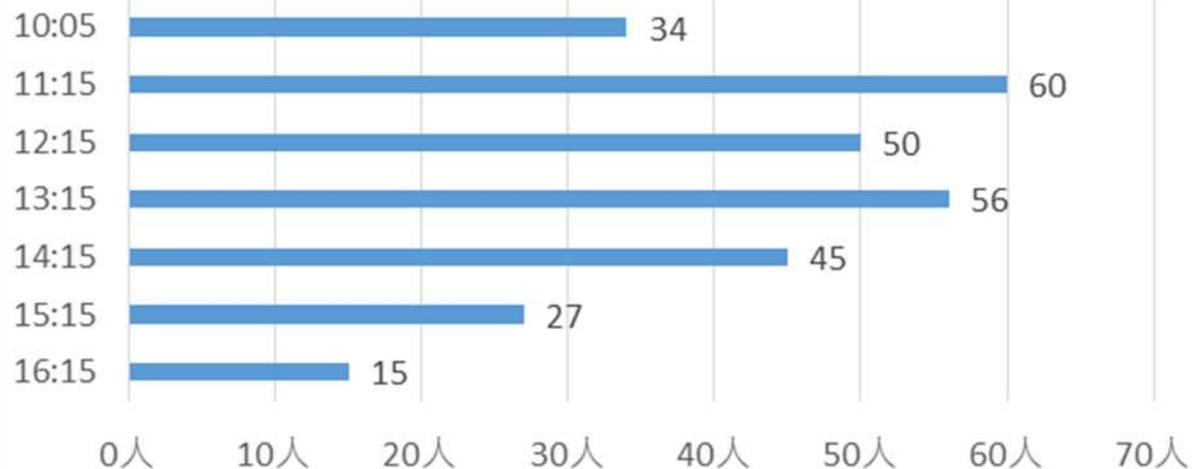
幸田町の公共交通 町運営

○ 藤田乗合直行タクシー 時間帯別利用者



令和3年4月～令和4年2月

行き 相見駅⇒藤田

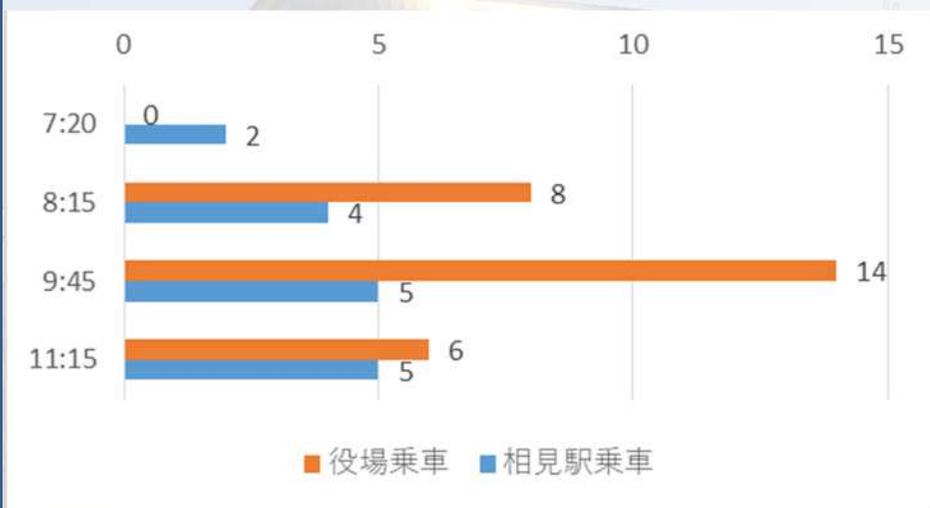


令和3年4月～令和4年3月

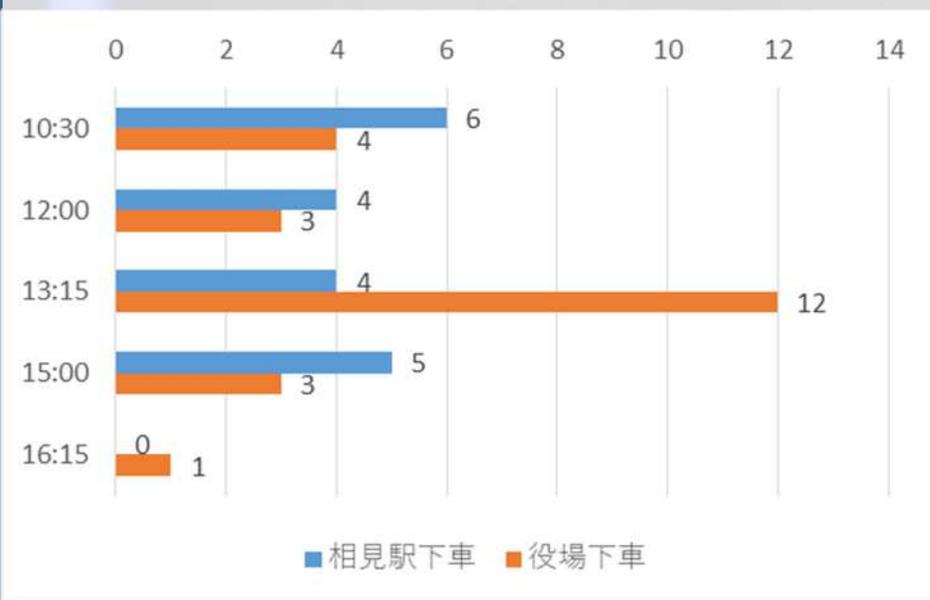
帰り 藤田⇒相見駅

幸田町の公共交通 町運営

○ 藤田乗合直行タクシー 時間帯別利用者



令和4年3月
行き 役場⇒相見駅⇒藤田



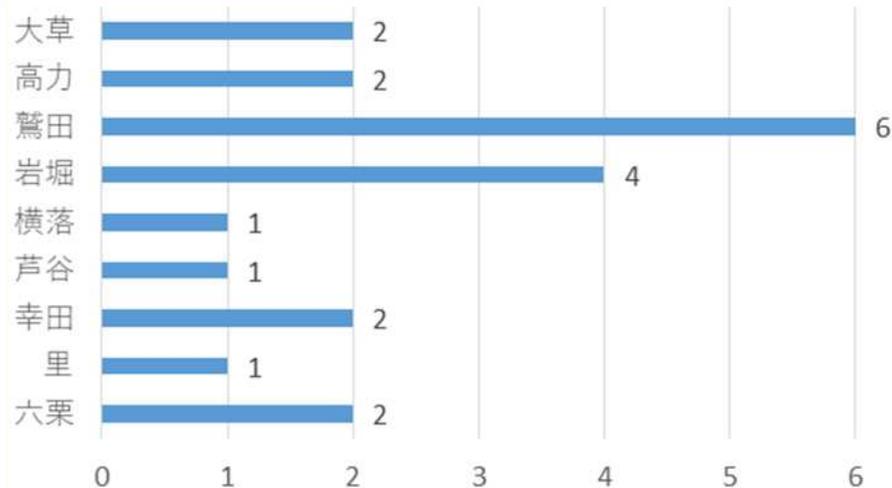
令和4年3月
帰り 藤田⇒相見駅⇒役場

幸田町の公共交通 町運営

○ 藤田乗合直行タクシー 居住別利用者数 ※利用者アンケートより

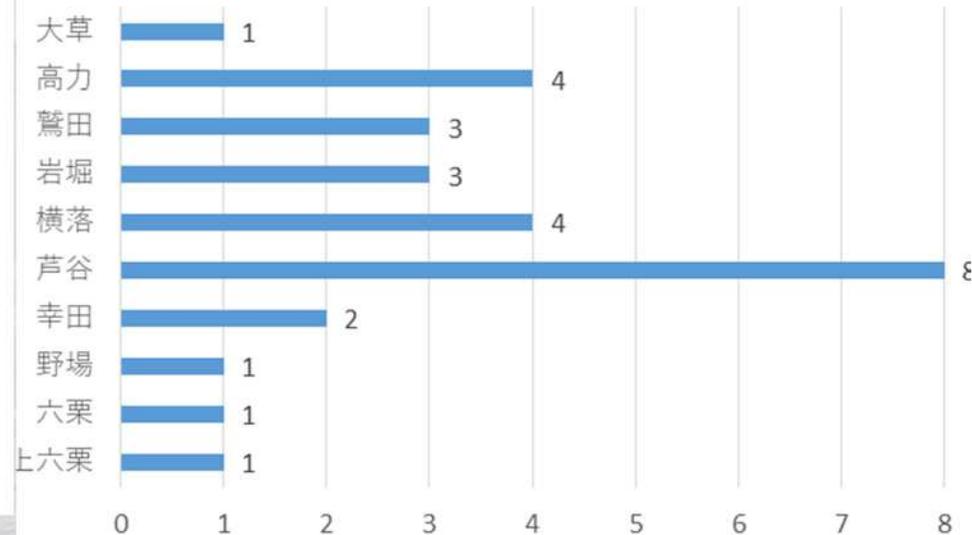
令和3年4月～令和4年2月

相見駅⇔藤田



令和4年3月

役場⇔相見駅⇔藤田



幸田町の公共交通 町運営

○ 坂崎コミュニティライド（企業立地課所管）

共助の考えをベースにボランティアドライバーに利用者が同乗して移動する仕組みで、地域のコミュニティを育み、交流を促すことに貢献する取組。既存の公共交通を補完するもので、タブレットやスマートフォンを用いて登録された利用者のリクエストとボランティアドライバーのオファーをシステムでマッチングし、目的地までの移動を可能にする。（利用はガソリン代等の実費をボランティアドライバーに支払う）

移動範囲や稼働時間などのルールは関係者の合意の取れる範囲で話し合いによって決めていく。

※本事業は地域に対して説明会や意見交換会などを行っている状況であり、小規模トライアルなどを実施予定。

幸田町の公共交通 町運営

○ 福祉タクシー料金助成事業（福祉課所管）

対象：町内に住所を有する人で、次のいずれかの手帳の所有者

- ① 身体障害者手帳1～3級の人
- ② 療育手帳A判定、B判定の人
- ③ 精神障害者保健福祉手帳1級、2級の人

※ 自動車税又は軽自動車税の減免を受けている人は対象外

助成内容：タクシー利用券 35,000円分（500円券・200円券 各50枚）

※ 年度途中での申請の場合は定められた枚数分減らして交付されます。

幸田町の公共交通 町運営

○ 在宅高齢者外出支援タクシー利用助成事業（福祉課所管）

対象：町内に住所を有する人で、以下の条件を全て満たす人

- ① 医療・福祉・介護施設に入院・入所をしておらず在宅で過ごす人
- ② 令和4年度末時点で(令和5年3月31日時点)で80歳以上の人
- ③ 次のいずれかの項目のうち、1つでも該当する人
 - ア 一人暮らし
 - イ 80歳以上の者のみで構成する世帯の人
 - ウ 運転免許を受けていない人

※ 福祉タクシー料金利用助成を受けている人は対象になりません。

助成内容：タクシーの普通車初乗り運賃 年間15回分

自宅と町内JR3駅間(直行の場合のみ)運賃全額 年間8回分

幸田町の公共交通 町運営

○ 福祉タクシー料金助成事業利用状況

交付者数	利用率(1枚以上使用した人の割合)
令和2年度:486人	66.8%
令和3年度:490人	69%

○ 在宅高齢者外出支援タクシー利用助成事業

交付者数	利用率(1枚以上使用した人の割合)
令和2年度:433人	51.5%
令和3年度:427人	59%

幸田町の公共交通 民間事業者

○ 鉄道(JR東海)

一日平均乗車数

三ヶ根駅

(令和3年度)

821人

(令和2年度)

812人

(令和元年)

1,013人

幸田駅

(令和3年度)

3,445人

(令和2年度)

3,383人

(令和元年)

4,215人

相見駅

(令和3年度)

1,313人

(令和2年度)

1,319人

(令和元年)

1,630人

幸田町の公共交通 民間事業者

○ タクシー

- ・幸田タクシー(株) 一般乗用旅客運送事業者
- ・(株)レミックス 一般乗用旅客運送事業者
一般貸切旅客運送事業者
- ・福祉タクシー げん 一般乗用旅客運送事業者(福祉タクシー)

○ その他の公共交通機関

なし ※名鉄バス(岡崎・幸田線)が平成26年に廃止

幸田町の公共交通 最後に

令和3年1月に実施した住民意識調査によると・・・

幸田町の公共交通の利用のしやすさを尋ねたところ、利用しやすいとの回答は「JR(幸田駅、三ヶ根駅、相見駅)」(43.8%)では多いものの、それ以外については総じて少なくなっている。

「幸田町における公共交通全般」の評価についても、利用しやすいとの回答は9.3%にとどまっており、住民にとって利用しやすい公共交通にあり方について検討する必要がある。

